

東海道新幹線 大規模改修工事の今後の計画について

当社では、東海道新幹線の土木構造物について、2013年度以降、予防保全の観点から大規模改修工事を実施しており、概ね計画通りに進めております。

このたび、現在施行中の工事計画に加え、2022年度までの計画を決定しましたのでお知らせします。

(1) 工事内容

- ・橋やトンネル等の土木構造物について、予防保全の考えに基づき、経年による変状の発生を抑止する対策を実施し延命化を図ります。

※構造物ごとの工事内容は表を参照

- ・今回の計画により、鋼橋とトンネルに対する上記対策が完了する見込みです。

(2) 工事期間




- ・2019～2022年度

(3) 工事費

- ・計1,360億円

※このうち、2019年度は30億円を計画しており、2019年度の大規模改修工事の計画額は、既発表の340億円と合わせて、370億円となります。

表 大規模改修工事

構造物種別	鋼橋	コンクリート橋	トンネル
実施イメージ			
主な工事内容	<ul style="list-style-type: none">・橋桁の接合部の補強・橋桁を支える部材の取替、補強	<ul style="list-style-type: none">・コンクリート表面を鋼板で保護	<ul style="list-style-type: none">・トンネル裏の隙間を充填・ロックボルトで補強